

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	337	老人福祉一般経費	会計	01	一般会計
基本施策	6	高齢者の健やかな生活を支える	款	03	民生費
担当部課名	伊賀支所 健康福祉課		項	02	老人福祉費
作成者氏名	福永 保	連絡先	目	01	老人福祉費総務費
		45-1016	細目	101	老人福祉一般事業
			細々目	01	老人福祉一般経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
在宅の高齢者		高齢者が住みなれた地域で、いきいきと自立した生活を営むことができる。
本年度事業内容	介護用品給付事業・移送サービス事業・地域ケア会議の開催	
開始年度	平成 16 年度	終了年度 平成 年度
	根拠法令・要綱等	

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.5	0.5	0.5
人件費合計(A)	3,600	3,600	3,600
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	48	41	41
需用費	48	41	41
負担金補助			
扶助費			
その他			
合計(A+B)	3,648	3,641	3,641
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	3,648	3,641	3,641
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
地域ケア会議開催数	回	10	9	12			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
地域ケア会議開催数	年間開催数	回	10 目標 (12)	9	12

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

伊賀市地域ケア会議の設置により、月1回市全体の担当者会議を持ち、各支所単位で支所管内地域ケア会議を開催し福祉的ニーズの総合調整、解決方法等を検討する。

評価	必要性	4	事業を現状維持する。高齢者が地域で生活していくについて、関係者連携による生活支援は必要であり、今後更に充実していく必要がある。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	3		